

# 2004 石油製品討論会

## 「環境対応石油製品の開発と分析評価技術の進展」

**主催** 石油学会

**協賛** 日本化学会, 日本機械学会, 日本トライボロジー学会, 日本分析化学会,  
自動車技術会, 日本エネルギー学会

**会期** 平成16年12月2日(木), 3日(金)

**場所** (独)国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 309号室  
(渋谷区代々木神園町3-1 <http://www.nyc.go.jp/index.html>)

**交通** 小田急線 参宮橋駅 徒歩約7分  
地下鉄千代田線 代々木公園駅(代々木公園方面出口) 徒歩約10分

12月2日(木)

開会の辞(9:50~10:00)

製品部会長 栗林 利明

研究発表

1. 超高感度硫黄分分析システムの開発(10:00~10:30)

新日本石油(株) 福元 洋

専門委員会報告

2. ミクロ法残留炭素分試験方法の低濃度域の精度規定とJPI法化(10:30~11:00)

コスモ石油(株) 渋谷 幸雄

研究発表

3. 超臨界二酸化炭素抽出法を用いた石油類の分別技術の開発(11:00~11:30)

新日本石油(株) 土居 義孝

4. 超クリーン燃料の炭化水素ヘテロ化合物の詳細分析(11:30~12:00)

出光興産(株) 水野 重之

休憩(12:00~13:00)

5. FAME混合軽油中の含酸素化合物分析法の検討(13:00~13:30)

石油基盤技術研究所 藤井 隆人

6. ディーゼル排出ガスに及ぼす燃料性状と運転モードの影響検討(13:30~14:00)

石油基盤技術研究所 鈴木 善克

専門委員会報告

7. ディーゼル車の燃料供給システム調査(03年度)(14:00~14:30)

新日本石油(株) 那須野 一八

研究発表

8. 家庭用燃焼機器評価技術開発「室内環境評価技術の確立」(14:30~15:00)

石油基盤技術研究所 安達 隆夫

休憩(15:00~15:15)

9. 給油時燃料蒸発ガス影響因子解析(15:15~15:45)

石油基盤技術研究所 金子 タカシ

10. ガソリンハイブリッド車の性能試験法の検討と燃料性状の影響評価(15:45~16:15)

昭和シェル石油(株) 小出 俊一

特別講演

11. 将来の自動車排出ガス低減技術(16:15~17:15)

早稲田大学 大聖 泰弘

**参加費** 普通会員(個人会員)11,000円, 維持会員会社会員17,000円,

協賛団体の会員17,000円, 学生会員3,000円, 非会員23,000円

**申込方法** (1) 所定の申込用紙(ペトロテック10月号綴込み、またはホームページよりダウンロード)に必要事項をご記入のうえお申し込み下さい。

(2) 申込用紙のない場合は、石油学会事務局に御請求下さい。

(3) 振込銀行 みずほ銀行西銀座支店 普通預金 1010633 口座名 社団法人石油学会

**申込締切** 11月25日(木) 申込締切日を過ぎますと、一律1,000円を加算致します。

**申込先** 〒102-0093 東京都千代田区平河町1-3-14 (社)石油学会 石油製品討論会係

(電話 03-3221-7301, FAX 03-3221-8175, [events@sekiyu-gakkai.or.jp](mailto:events@sekiyu-gakkai.or.jp))

12月3日(金)

専門委員会報告

12. SHRP バインダー試験専門委員会活動報告(10:00~10:30)

出光興産(株) 砂田 考一

研究発表

13. 新規なタックコート用乳剤に関する研究(10:30~11:00)

東亜道路工業(株) 川口 洋

講演

14. アスファルト舗装の高温時の縦亀裂(11:00~12:00)

北海道大学 森吉 昭博

休憩(12:00~13:00)

研究発表

15. 有機モリブデン化合物の酸化防止性能の解析(13:00~13:30)

新日本石油(株) 八木下 和宏

16. 新ガスエンジン油の開発(13:30~14:00)

新日本石油(株) 大川 哲夫

講演

17. 潤滑油からみた環境対応へのアプローチ(14:00~15:00)

香川大学 若林 利明

休憩(15:00~15:15)

研究発表

18. 境界潤滑特性に対する添加剤の混合効果と摩擦面生成物(15:15~15:45)

出光興産(株) 市橋 俊彦

19. 船用ディーゼル機関ピストンデポジットとスカuffingに関する一考察(15:45~16:15)

シェブロンテキサコ ジャパン(株) 永松 洋之